

クロルフルアズロン乳剤 アタブロン乳剤	取扱メーカー： 石原、三井アグロ、ホクサン、一農 原体メーカー： 石原産業
成分： クロルフルアズロン〔I GR (キチン合成阻害剤)〕…5.0% その他 PRTR 該当成分： N, N-ジメチルアセトアミド〔PRTR・1種〕……………7.0% ナフタレン〔PRTR・1種〕……………2.4% 1, 2, 4-トリメチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………1.3%	性状： 褐色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、ミナミキイロアザミウマなどに優れた効果を示す。
- 他の殺虫剤が効きにくくなった抵抗性のミナミキイロアザミウマ、ハスモンヨトウなどの害虫にも優れた効果を示す。
- ミツバチ、マルハナバチ、捕食性ダニなどの有用昆虫及び天敵への影響がほとんどない。
- 優れた残効性を有する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 遅効的であるので、なるべく、若齢幼虫期に散布する。
 - 浸透移行性がないので、茎葉の表裏に十分にかかろう丁寧に散布する。
- 〈キャベツ、はくさい、だいこん〉
- 抵抗性コナガなどに高い効果を示すが、本剤の抵抗性の発達を防ぐため、作用性の異なる他剤との体系散布を行う。（本剤とノーモルト、カスケードなどは、類似した作用性の成分を含む薬剤である）
 - アブラムシには効果がないので、アブラムシが発生した場合は、アブラムシに有効な薬剤との混用又は体系散布を行う。
 - だいこんのキスジノミハムシに対しては、成虫が産下した卵のふ化を阻害するので、飛び込んだ成虫が薬剤を摂取するよう、1～2週間間隔で2～3回散布する。

〈メロン、なす、すいか、トマト、いちご〉

- ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、タバココナジラミに使用する場合、蛹、成虫には効果がないので、発生初期の幼虫主体のときに散布するか、成虫に有効な薬剤と混用する。
- ミツバチ、マルハナバチなどの天敵・訪花昆虫に影響が少なく、ハスモンヨトウ等の害虫防除が可能。

〈ねぎ〉

- シロイチモジヨトウに使用する場合、食入前の若齢幼虫期に散布する。

〈茶〉

- ハマキムシ類、ヨモギエダシヤクに高い効果を示すが捕食性ダニなどの天敵にはほとんど影響がない。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（はくさい、だいこん、さやえんどう、メロン、茶）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 甲殻類に影響を及ぼすので注意。
- 自動車などにかからぬようにする（塗装汚染）。
- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフルアズロンを 含む農薬の総使用回数	
かんしょ	ハスモンヨトウ	2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	5 回以内	散布	5 回以内	
さやえんどう	シロイチモジヨトウ			前日まで	2 回以内		無人航空機 による散布	2 回以内
さやいんげん	ミナミキイロアザミウマ アズキノメイガ							
だいず	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍	0.8 ℓ 0.8～1.6ℓ	2 回以内		無人航空機 による散布		
		8 倍						
		16 倍						
	オオタバコガ	4000 倍	100～ 300 ℓ	14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
えだまめ	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍						
	ミナミキイロアザミウマ	4000 倍						
すいか	ハスモンヨトウ	2000 倍	100～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	4 回以内	
	ミナミキイロアザミウマ	2000～4000 倍						
メロン	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む) ウリノメイガ							100～ 300 ℓ
トマト ミニトマト	ハスモンヨトウ オオタバコガ	2000 倍						
	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)							
なす	アズキノメイガ		2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内
	ミナミキイロアザミウマ							
ピーマン ししとう	ハスモンヨトウ オオタバコガ							
キャベツ	アオムシ、コナガ ヨトウムシ	2000 倍						
	ハスモンヨトウ タマナギンウワバ ハイマダラノメイガ							
はくさい	アオムシ、コナガ ヨトウムシ		2000 倍	100～ 300 ℓ	14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	ハスモンヨトウ タマナギンウワバ							
だいこん	アオムシ、コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ キスジノミハムシ							
ブロッコリー	アオムシ、コナガ タマナギンウワバ	7 日前まで						
カリフラワー	コナガ							
いちご	ハスモンヨトウ ミカンキイロアザミウマ			100～ 300 ℓ	前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
ねぎ わけぎ あさつき	シロイチモジヨトウ ネギアザミウマ	21 日前まで						
レタス	ハスモンヨトウ		3 日前まで					
オクラ	ハスモンヨトウ オオタバコガ ヨトウムシ			前日まで	4 回以内	4 回以内		

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	クロルフルアズロンを 含む農薬の総使用回数	
やまのいも やまのいも (むかご)	ナガイモコガ	2000 倍	100～ 300 ℓ	7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内	
みょうが (花穂)	ハスモンヨトウ			前日まで	2 回以内	散布, 但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	2 回以内	
みょうが (茎葉)								みょうが(花穂)の収穫前日まで但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで
エンサイ								
しそ		4000 倍	14 日前まで	散布	3 回以内			3 回以内
ふき	2000 倍	3 日前まで	3 回以内					
茶		チャノコカクモンハマキ チャハマキ ヨモギエダシャク	200～ 400 ℓ	摘採 14 日前まで	2 回以内	2 回以内		
たばこ		ヨトウムシ	100～ 180 ℓ	10 日前まで	1 回	1 回		
きく		ミナミキイロアザミウマ シロイチモジヨトウ	100～ 300 ℓ	発生初期	5 回以内	5 回以内		
宿根かすみそう	シロイチモジヨトウ							